

中小企業景気動向調査

(2020年10～12月調査)

vol.170

(2021年1月20日発行)

目次

全業種業況概要(業況～設備の状況) 1
 業種別業況の推移 3
 製造業/卸売業/小売業 4
 建設業/サービス業/不動産業 5
 特別調査(2021年(令和3年)の経営見通し) 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

●調査時点

2020年12月初旬

●調査対象時期

2020年10月～12月実績及び
2021年1月～3月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	54	96.4
卸売業	21	10.5	20	95.2
小売業	42	21.0	38	90.5
建設業	32	16.0	31	96.9
サービス業	32	16.0	29	90.6
不動産業	17	8.5	16	94.1
合計	200	100.0	188	94.0

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)
 B=ややA
 C=普通(変わらず・適正) $D.I = A \cdot B - D \cdot E$
 D=ややE
 E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A.B.C.D.E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

売上額・収益が大きく改善し、業況も改善

金沢信用金庫が行った中小企業188社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率94.0%)の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△49.5(前期△68.4)と18.9ポイント改善した。

業種別では、サービス業が△41.4(前期△73.7)と32.3ポイント、製造業が△61.1(前期△88.7)と27.6ポイント改善した。ほかでは、不動産

業が△31.3(前期△52.9)と21.6ポイント、卸売業が△70.0(前期△85.7)と15.7ポイント、建設業が△16.1(前期△29.0)と12.9ポイント、小売業が△63.2(前期△65.8)と2.6ポイント改善し、全業種が改善したが、来期予想は厳しい見方が多く、全産業ベースでの業況判断DIは△54.8と5.3ポイントの悪化を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは△7.4(前期△26.8)と19.4ポイント改善し、収益判断DIも△10.1(前期△33.2)と23.1ポイント改善したが、来期予想は業況判断と同様に厳しく、売上額

判断DIが△35.6と28.2ポイント、収益判断DIは△34.0と23.9ポイントの悪化を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は、「売上の延滞・減少」(全回答中61.7%)で、以下「同業者間の競争激化」(全回答中25.0%)、「利幅の減少」(全回答中20.7%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の節減」(全回答中50.0%)との回答が最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中37.8%)、「人材を確保する」(全回答中21.8%)という結果となった。

(注)2020年10～12月を今期、7～9月を前期、2021年1～3月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ ☔️ → 低調

業種名	時期	2019年(平成31年・令和元年)				2020年(令和2年)				見通し 2021年
		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	
総 合		☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
製 造 業		☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
卸 売 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
小 売 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
建 設 業		☁️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
サ ー ビ ス 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
不 動 産 業		☀️	☔️	☀️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️

全業種

	2019年(平成31年・令和元年)				2020年(令和2年)				見通し 2021年
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
業況	△ 2.4	△19.7	△15.7	△20.9	△34.4	△64.4	△68.4	△49.5	△54.8
売上額	△13.9	△ 8.7	△12.7	△ 7.1	△38.6	△61.3	△26.8	△ 7.4	△35.6
受注残	△11.6	△ 1.1	△ 9.3	△ 9.3	△35.0	△48.2	△36.9	△ 5.9	△27.1
収益	△17.3	△15.9	△16.2	△10.7	△37.6	△60.7	△33.2	△10.1	△34.0
販売価格	5.3	3.8	4.4	11.2	△ 3.2	△16.2	△ 1.6	1.6	△ 7.4
原材料価格	22.6	33.7	22.5	32.7	10.1	△ 1.6	12.1	11.2	9.0
在庫	2.9	5.7	9.4	9.0	5.7	15.6	8.1	6.3	1.9
資金繰り	△13.5	△13.0	△13.7	△12.2	△18.5	△40.3	△16.8	△ 8.0	△14.4
雇用(人手)	△33.7	△33.7	△29.4	△27.0	△27.5	12.0	6.8	△11.2	△ 9.0
設備状況	△10.1	△ 9.0	△12.9	△ 9.5	△11.0	△ 5.7	△ 7.5	△12.2	△11.6

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた172社の動向です。

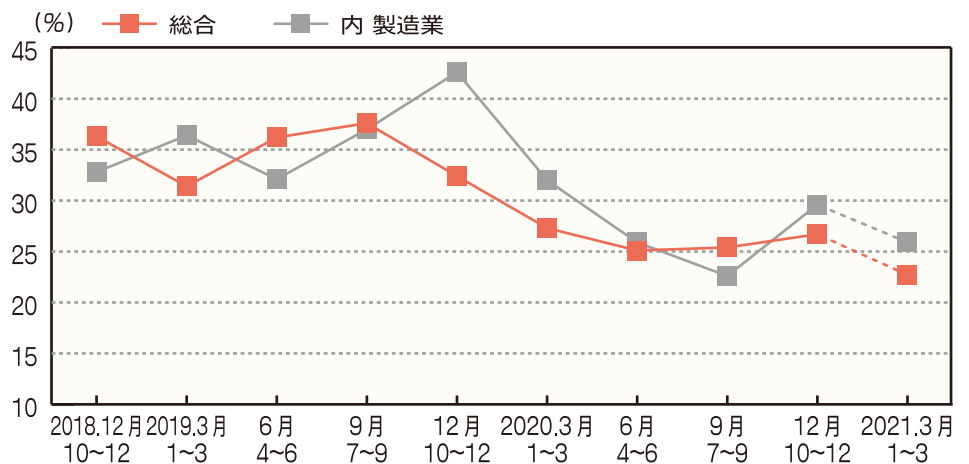
● 10~12月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数
	%	26.7	73.3
(内 製造業)	数	16	38
	%	29.6	70.4

(来期見通し)

		有	無
		総合	数
	%	22.7	77.3
(内 製造業)	数	14	40
	%	25.9	74.1

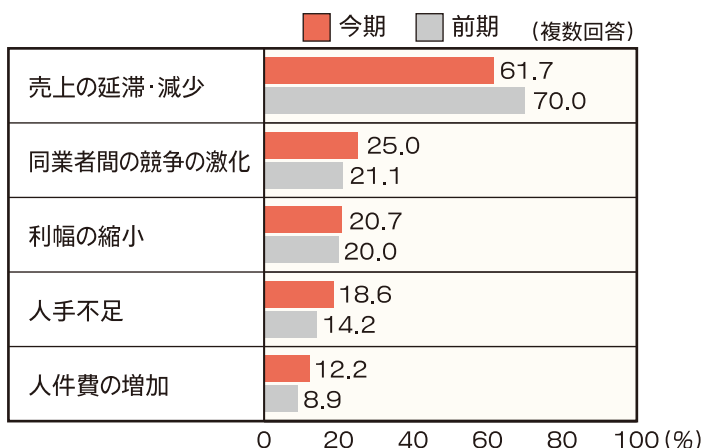
● 設備投資実施(予定)割合



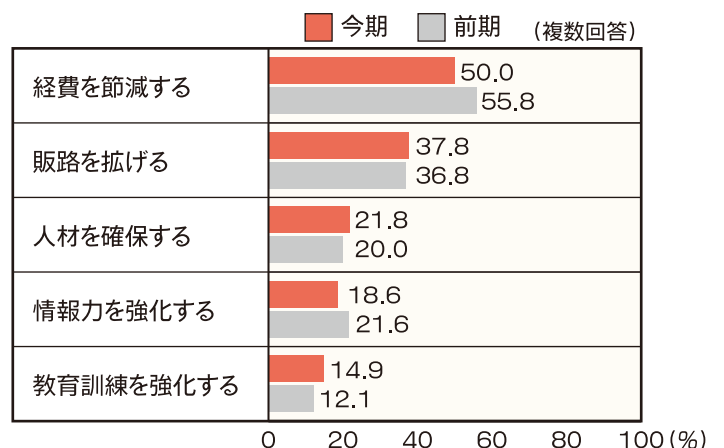
● 10~12月に実施した設備投資の内訳 (複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	1.7	6.4	11.0	7.0
(内 製造業)	%	1.9	9.3	14.8	9.3	7.4	1.9

経営上の問題点



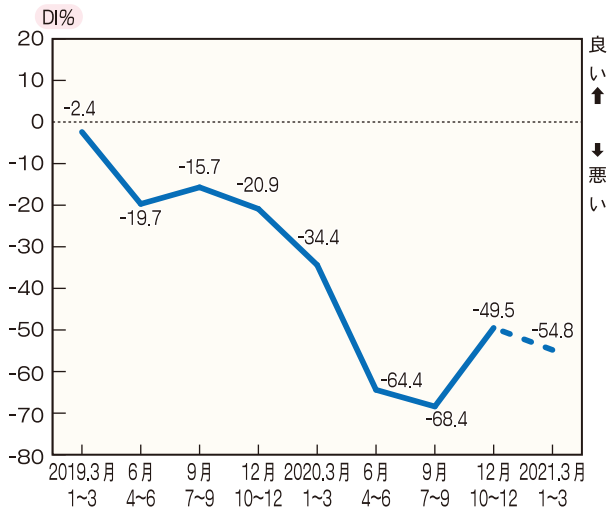
重点経営施策



全業種

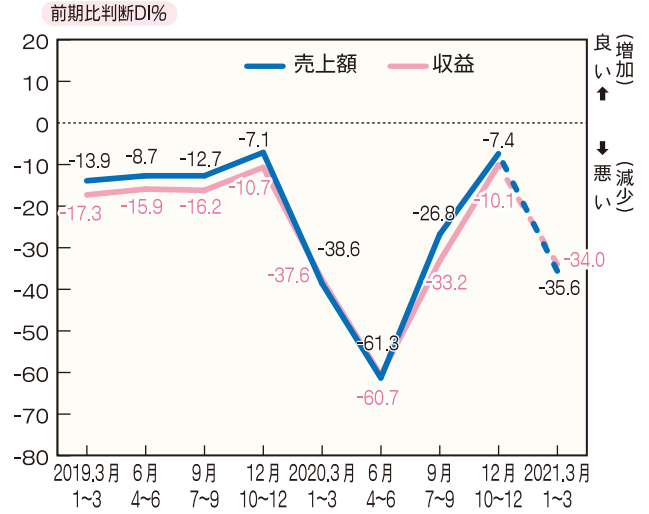
業況

前期から18.9ポイント改善



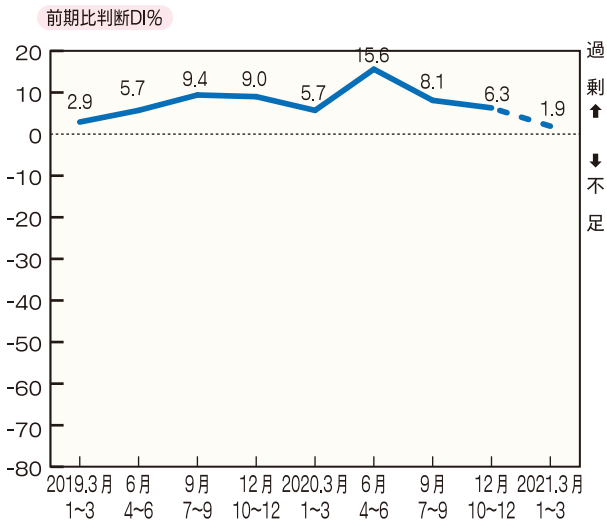
売上額・収益

売上・収益ともに改善するも
来期は悪化を予想



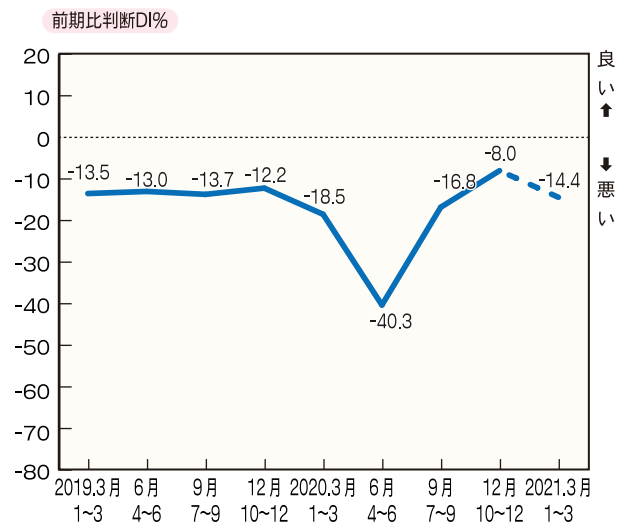
在庫

6.3と前期より1.8ポイントの減少



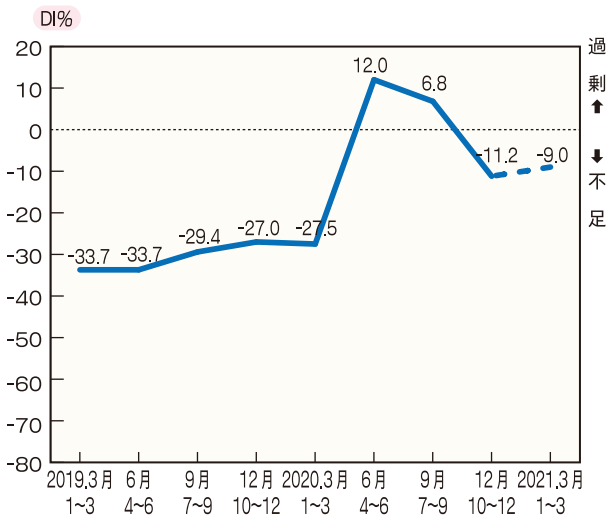
資金繰り

8.8ポイント改善するも
来期は6.4ポイントの悪化を予想



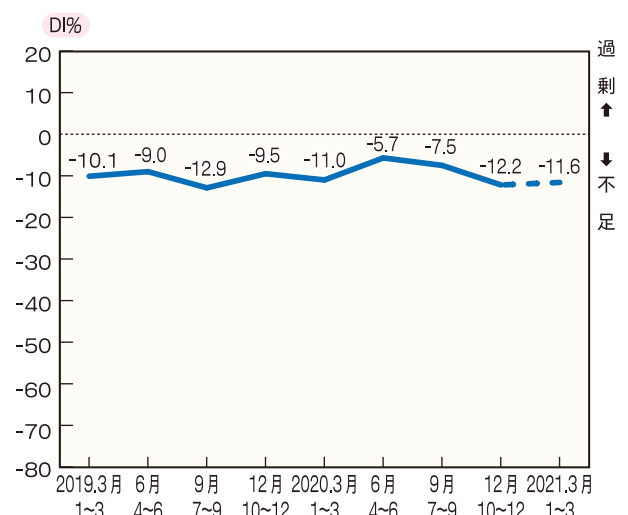
雇用

サービス業、建設業を中心に
やや人手不足感が増加



設備の状況

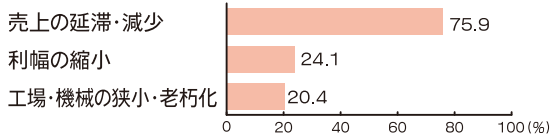
4.7ポイント減少
来期予想も横ばい



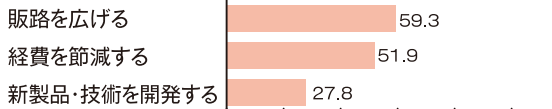
製造業

業況・売上額・収益ともに大きく改善

◆ 経営上の問題点



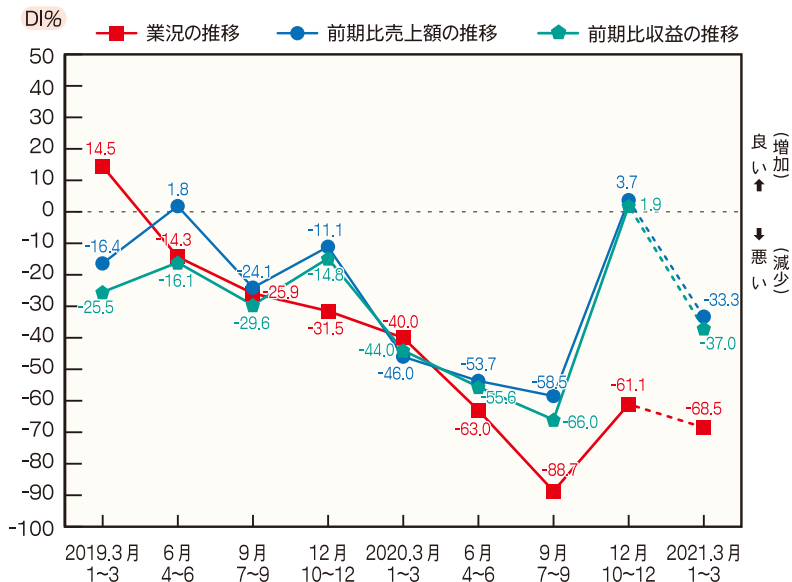
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) 借入金の動きに比した動き

売上額	△75.9	借入の実施	50.0%
収益	△75.9	借入の予定	22.2%

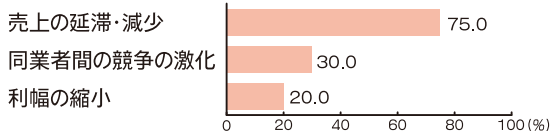
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



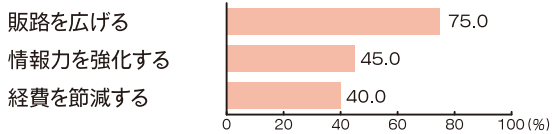
卸売業

業況・売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



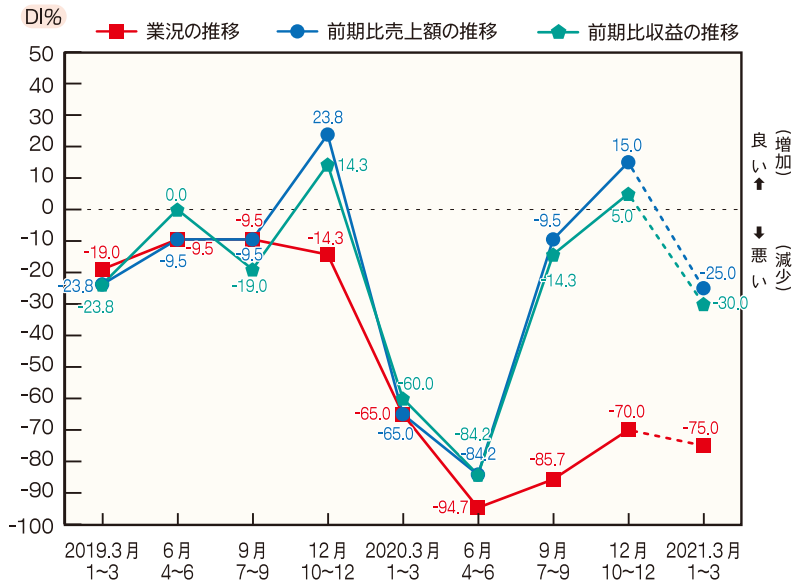
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) 借入金の動きに比した動き

売上額	△65.0	借入の実施	30.0%
収益	△60.0	借入の予定	5.0%
販売価格	10.0		

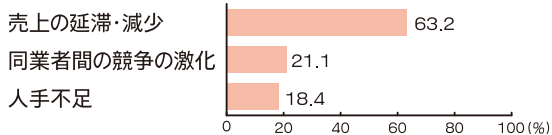
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



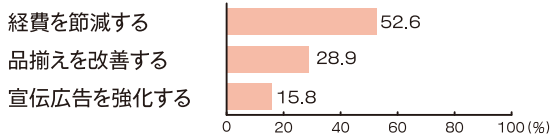
小売業

売上額・収益はやや減少
業況はわずかに改善

◆ 経営上の問題点



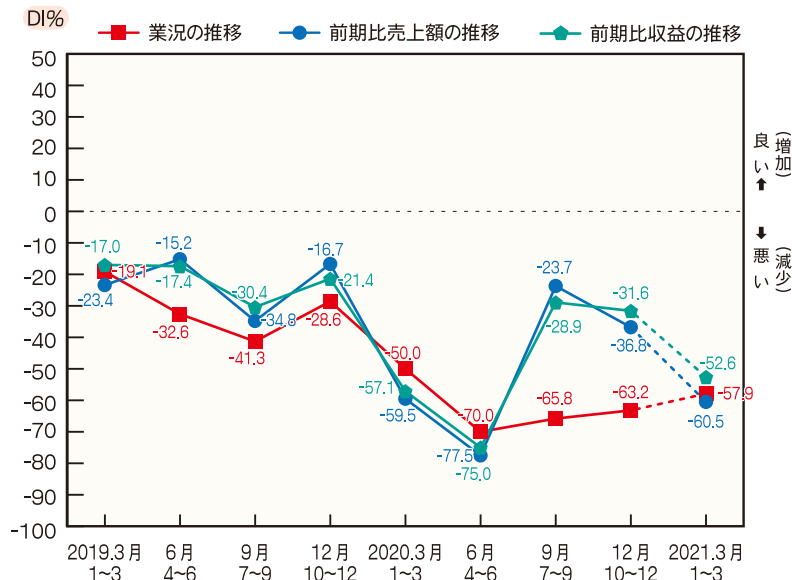
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) 借入金の動きに比した動き

売上額	△57.9	借入の実施	44.7%
収益	△50.0	借入の予定	18.4%
販売価格	△7.9		

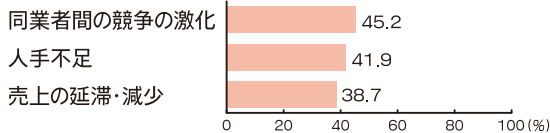
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



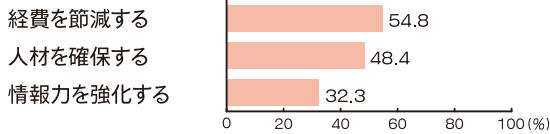
建設業

業況は改善
売上額・収益もやや上昇

◆ 経営上の問題点



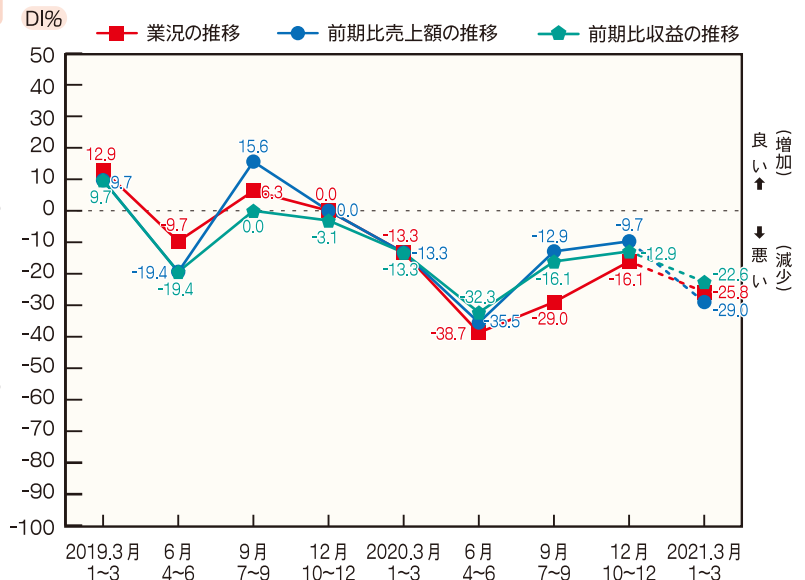
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) ◆ 借入金の動きに比した動き

売上額	△32.3	借入の実施	29.0%
収益	△32.3	借入の予定	12.9%

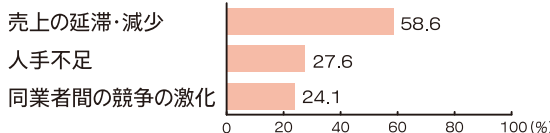
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



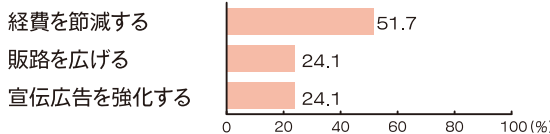
サービス業

業況は大幅に改善
売上額・収益はわずかに減少

◆ 経営上の問題点



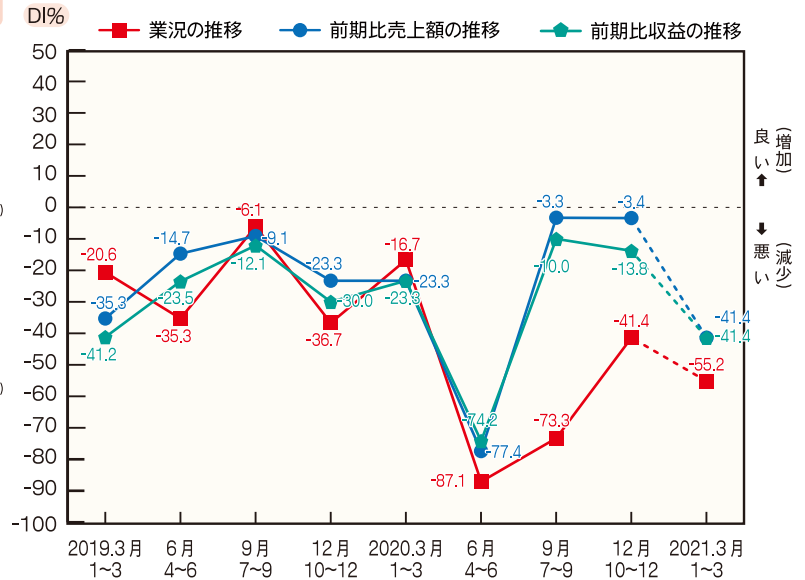
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) ◆ 借入金の動きに比した動き

売上額	△41.4	借入の実施	31.0%
収益	△37.9	借入の予定	10.3%

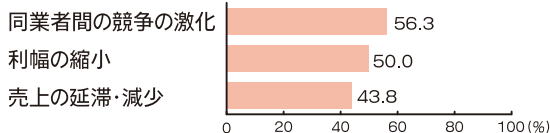
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



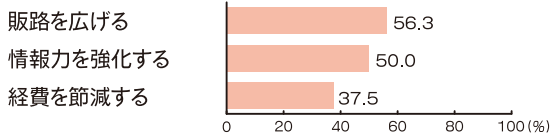
不動産業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



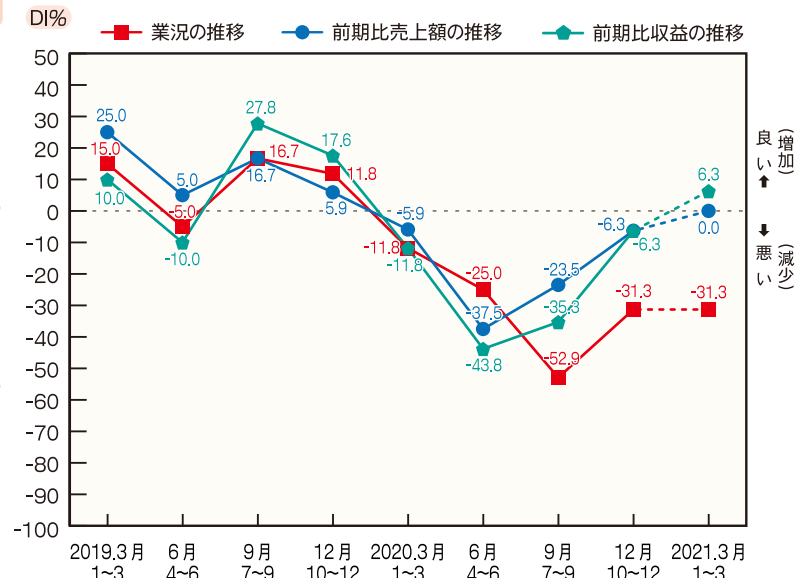
◆ 重点経営施策



◆ 昨年同時期 (2019年10~12月) ◆ 借入金の動きに比した動き

売上額	△50.0	借入の実施	62.5%
収益	△50.0	借入の予定	37.5%

◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移

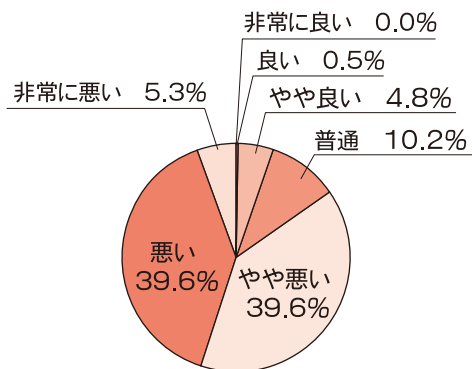




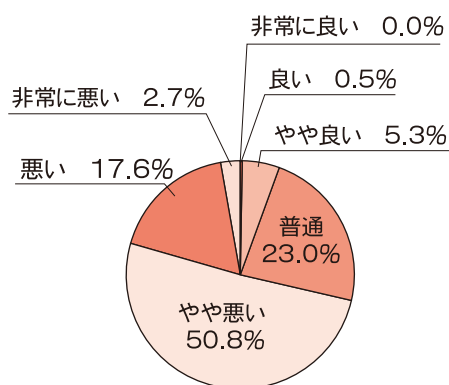
2021年(令和3年)の経営見通し

187社(無回答1社)に調査し回答をいただいたものです。

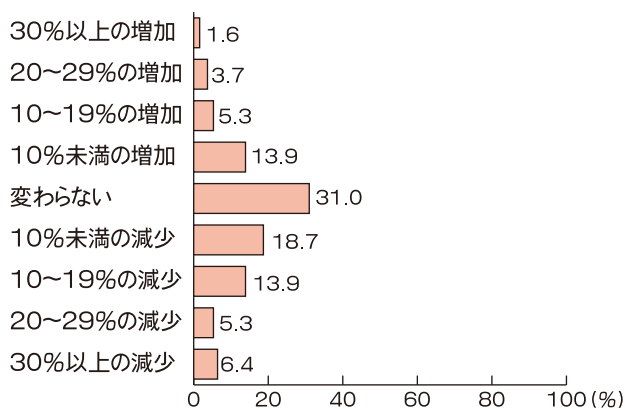
1 2021年の日本の景気をどのように見通していますか。



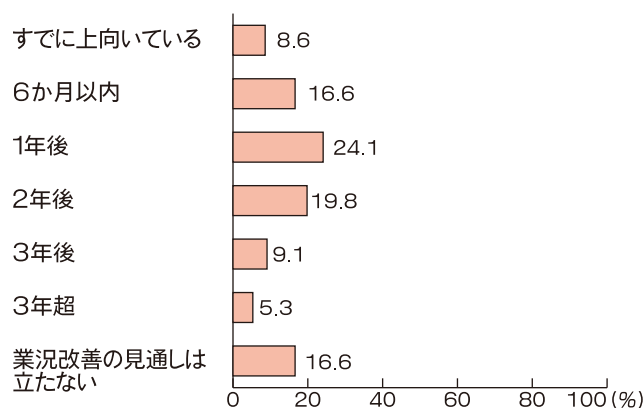
2 2021年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



3 2021年において自社の売上額の伸び率は、2020年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



4 自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。



5 現下のコロナ禍において、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。(複数回答)

